



《将来に向けた取組方針》

ダイハツは、地域の方々とダイハツグループ国内外各社の協働により、生物多様性の保全に貢献し、自然豊かな地域社会を未来に残す活動を通じて、事業による環境負荷のゼロバランスを目指します。そのために、事業場内の自然の調査と保護活動を継続することでノウハウを確立し、地域の生態系を本来の姿に回復させる活動に貢献していきます。また、こうした自然共生活動の協働を通じて、Light you up マインドを醸成し、コア人材の育成による社会貢献を進めます。

地域に根差した生物多様性保全活動

国内事業所には地域性を示す自然環境や動植物の生息環境があり、農薬等の薬剤を使用しない手作業による草刈りによる緑地管理を行ってきました。

2015年からの生物調査の結果、合計1,145種類（絶滅危惧種や希少種は77種類）もの生き物たちが暮らしていることがわかり、生き物たちを保全するため専門家のアドバイスを受けながら、事業所で行える生物多様性保全を行っています。

また、地域における生物多様性の課題についても地域の方々と連携し活動も行っています。

そして、環境マインドを醸成することで活動の輪を広げていこうと、従業員や地域に向けた生物多様性に関する啓発活動にも取り組んでいます。



貴重な生き物の保全

緑地内で見つかった貴重な生き物の保全（生息地の保護や移動）



生息環境の維持

緑地や周辺地域にくらす生き物の生息環境を維持・改善



外来植物の駆除

緑地月間のイベントなどで緑地に生息する外来植物を駆除



グリーンカーテンコンテスト

部署ごとにゴーヤなどを育てながら、訪れた生き物も記録



生き物観察＆調査会

従業員やその家族向けにビオトープを活用した環境教育

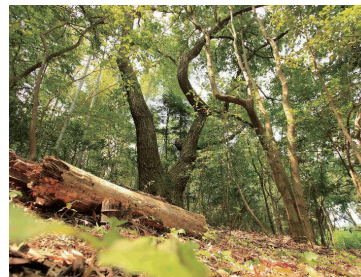


生き物マップの作成

調査や観察会の結果を生き物マップにして掲載

森林保全活動「はぐくみの森」

2019年から生物多様性保全に配慮した社有林の森林整備を行っています。整備した森林を保全活動や環境マインド醸成の場として活用し、地域の方々との連携や交流を深め活動してまいります。



滋賀地区「はぐくみの森 竜王」の様子